

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、平久里川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、降雨強度50mm/hr相当の確率規模の降雨によって発生しうる洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 【凡例】
- 流域界
 - 河川改修
 - 砂防堰堤（整備済）
 - 危機管理型水位計
 - 河川監視カメラ
 - 浸水想定（計画規模1/50）

水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

森林等の健全な維持
管理と育成・保全

洪水浸水想定区域図
（公表済）
洪水ハザードマップ
（想定最大規模に更新）

危機管理型水位計
河川監視カメラ
（設置済）

河道拡幅

地すべり対策

危機管理型水位計
（設置済）

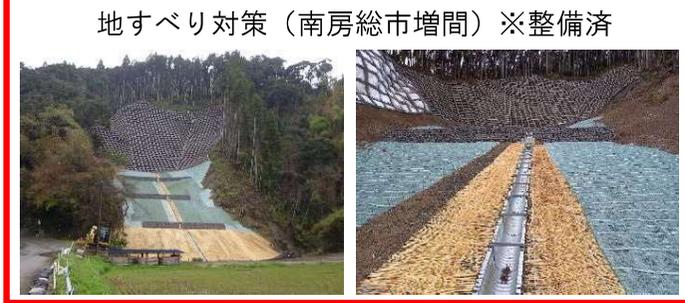
河道拡幅、橋梁改築



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・ 河道拡幅、橋梁改築、樹木伐採、堆積土撤去
 - ・ 地すべり対策、砂防堰堤（整備済）
 - ・ 森林等の健全な維持管理と育成・保全
 - ・ 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ ため池やクリークの治水活用

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・ 立地適正化計画の策定支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・ 洪水浸水想定区域図、洪水ハザードマップ
 - ・ 危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・ 水害対応タイムラインの活用
 - ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・ 防災士養成のための支援
 - ・ 避難所開設・混雑情報のリアルタイム表示



- 平久里川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】河川における対策として、平久里川の河口部（河口～滝川合流点）と滝川の上流部（館野橋～山名川合流点）で河道拡幅を推進する。また、県管理の二級河川において、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中期】引き続き、平久里川の河口部（河口～滝川合流点）と滝川の上流部（館野橋～山名川合流点）の早期完成に向けて、河道拡幅を推進する。
 - 【中長期】平久里川の下流部（西郷堰～三芳橋）の河道拡幅を推進し、平久里川水系の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、上流域における地すべり対策、森林等の健全な維持管理と育成・保全、雨水を一時的に貯留する田んぼダム、ため池等の治水利用を促進するとともに、避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築	千葉県	平久里川、滝川の河川改修を実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	二級河川で実施	定期的にも実施予定	
	地すべり対策	千葉県	地すべり防止区域内で実施	地すべりの活動状況に応じて実施予定	
	森林等の健全な維持管理と育成・保全	南房総市	継続して実施		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水利用	施設管理者等	千葉県と関係市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	運用状況の検証・定期的にも更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市	運用実績の検証		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	館山市	継続して実施		
	防災士養成のための支援	関係市	継続して実施		
	避難所開設・混雑情報のリアルタイム表示	南房総市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】
 ■河川対策
 全体事業費 25.7億円
 河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
 更なる対策を推進

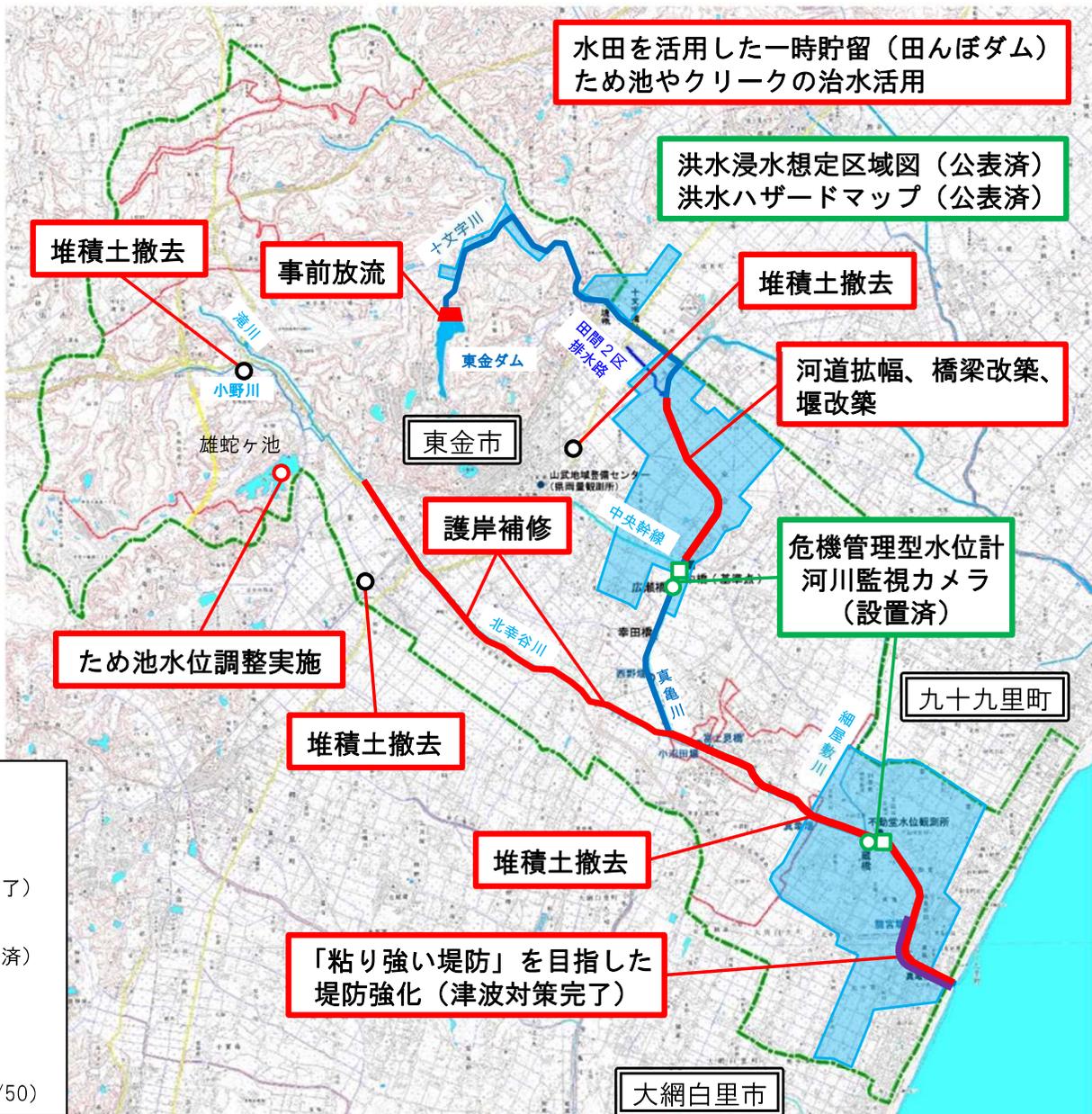
○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、真亀川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



【平成8年】中橋付近浸水状況



【平成8年】中橋付近浸水状況



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道拡幅、橋梁改築、堰改築
 - ・護岸補修
 - ・堆積土撤去（河川）
 - ・堆積土撤去（調整池・調節池）
 - ・「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
 - ・利水ダムの事前放流
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用
 - ・開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の策定支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・洪水ハザードマップ（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・事業継続計画（BCP）の策定
 - ・不動産取引時の水害リスク情報提供



水資源機構提供

- 【凡例】
- 流域界
 - 河川改修
 - 堤防強化（津波対策完了）
 - 利水ダムの事前放流
 - 調整池・調節池（整備済）
 - ため池水位調整実施
 - 危機管理型水位計
 - 河川監視カメラ
 - 浸水想定（計画規模1/50）

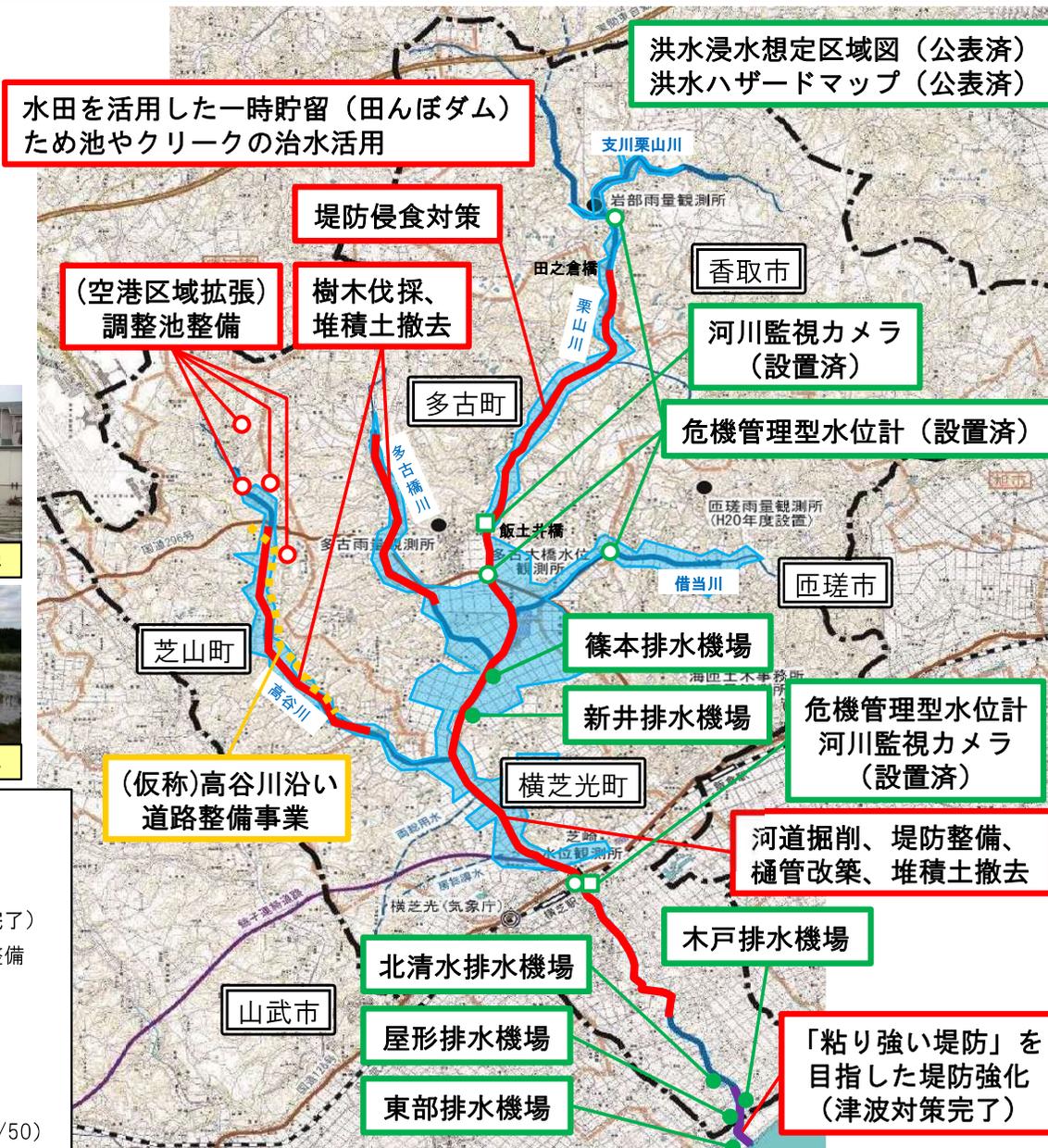
- 真亀川水系では、県、市町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 河川における対策として、真亀川の中流域で中橋の改築を推進するとともに、下流域（河口～北幸谷川合流点）で堆積土撤去を実施する。
 - 【中期】 中橋の改築完了後、真亀川の中流域（中橋～田間2区排水路流入部）で河道拡幅及び橋梁改築等を推進する。
 - 【中長期】 引き続き、真亀川の中流域（中橋～田間2区排水路流入部）で河道拡幅及び橋梁改築等を推進し、真亀川の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、東金ダムにおける事前放流や雨水を一時的に貯留する田んぼダム、ため池等の治水利用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築、堰改築	千葉県	中橋の改築	中橋～田間2区排水路流入部	
	護岸補修	東金市		継続して実施	
	堆積土撤去(河川)	千葉県	河口～北幸谷川	定期的には実施予定	
	堆積土撤去(調整池・調節池)	東金市	3箇所実施		
	利水ダムの事前放流	水資源機構		継続して実施	
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等		千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進	
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等		千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進	
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	関係市町		継続して実施	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県		策定・見直し支援	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的には更新予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町		運用実績の検証	
	マイ・タイムラインの作成支援	東金市、大網白里市		継続して実施	
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、大網白里市		継続して実施	
	事業継続計画(BCP)の策定	東金市、大網白里市		随時見直しながら実施	
	不動産取引時の水害リスク情報提供	大網白里市		継続して実施	

【事業費(R3以降の残事業費)】
 ■河川対策
 全体事業費 30.2億円
 河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、栗山川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道掘削、堤防整備、樋管改築
 - ・堤防侵食対策
 - ・樹木伐採、堆積土撤去
 - ・「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
 - ・空港区域拡張（C滑走路新設）に伴う調整池の整備
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用
 - ・農業用排水施設の活用
 - ・建築確認申請時の浸透枳設置のお願い
 - ・開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・高谷川の氾濫時にも通行できる道路（一部機能補償道路）の新設整備
 - ・立地適正化計画の策定支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・洪水ハザードマップ（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・排水門等の整備（排水機場の老朽化対策）



- 【凡例】
- 流域界
 - 河川改修
 - 堤防強化（津波対策完了）
 - 氾濫時通行可能道路整備
 - 雨水貯留施設整備
 - 危機管理型水位計
 - 河川監視カメラ
 - 排水門等の整備
 - 浸水想定（計画規模1/50）

- 栗山川水系では、県、市町等が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 河川における対策として、栗山川の中流域で河道掘削及び堤防整備等を推進するとともに、栗山川、高谷川及び多古橋川等で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中期】 引き続き、栗山川の中流域で高谷川合流点までの河道掘削及び堤防整備等を推進する。
 - 【中長期】 栗山川の中流域で飯土井橋までの河道掘削及び堤防整備等を推進し、事業区間の改修完了を目指す。また、栗山川の上流域でも飯土井橋から田之倉橋の区間で堤防侵食対策を継続して実施していく。
- あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水利用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、樋管改築	千葉県	高谷川合流点まで実施		飯土井橋まで実施
	堤防侵食対策	千葉県	飯土井橋から田之倉橋の区間で継続して実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	3河川等で実施	定期的には実施予定	
	空港区域拡張(C滑走路新設)に伴う調整池の整備	成田国際空港(株)	新設整備		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	農業用排水施設の活用	千葉県、施設管理者	継続して実施		
	建築確認申請時の浸透樹設置のお願い	横芝光町	継続して実施		
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	芝山町、横芝光町	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	高谷川の氾濫時にも通行できる道路(一部機能補償道路)の新設整備	芝山町、成田国際空港(株)	新設整備		
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	運用状況の検証、定期的には更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町	運用実績の検証		
	マイ・タイムラインの作成支援	香取市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	横芝光町	継続して実施		
	排水門等の整備(排水機場の老朽化対策)	横芝光町	排水機場6箇所を実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】
 ■ 河川対策
 全体事業費 45.4億円
 河道掘削、堤防整備等

気候変動を踏まえた
 更なる対策を推進

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、矢那川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



洪水浸水想定区域図（公表済）
洪水ハザードマップの更新・配布

危機管理型水位計・河川監視カメラ
（設置済）

公共下水道区域内の
雨水流出抑制の指導

樹木伐採、堆積土撤去

護岸整備、河床掘削、
橋梁改築

事前放流

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・護岸整備、河床掘削、橋梁改築
 - ・樹木伐採、堆積土撤去
 - ・矢那川ダムでの事前放流
 - ・公共下水道区域内の雨水流出抑制の指導
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の見直し

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・雨水出水浸水想定区域の指定
 - ・洪水ハザードマップの情報提供・更新・配布
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・水防災教育の推進
 - ・事業継続計画（BCP）の策定
 - ・不動産取引時の水害リスク情報提供
 - ・地区別防災指針の策定



【平成8年】浸水状況
（木更津市大和1丁目地先）



【平成25年】浸水状況
（木更津市大和1丁目地先）

【凡例】

- 流域界
- 河川改修
- ▲ 矢那川ダムの事前放流
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

水田を活用した一次貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用



護岸整備（矢那川）



事前放流（矢那川ダム）

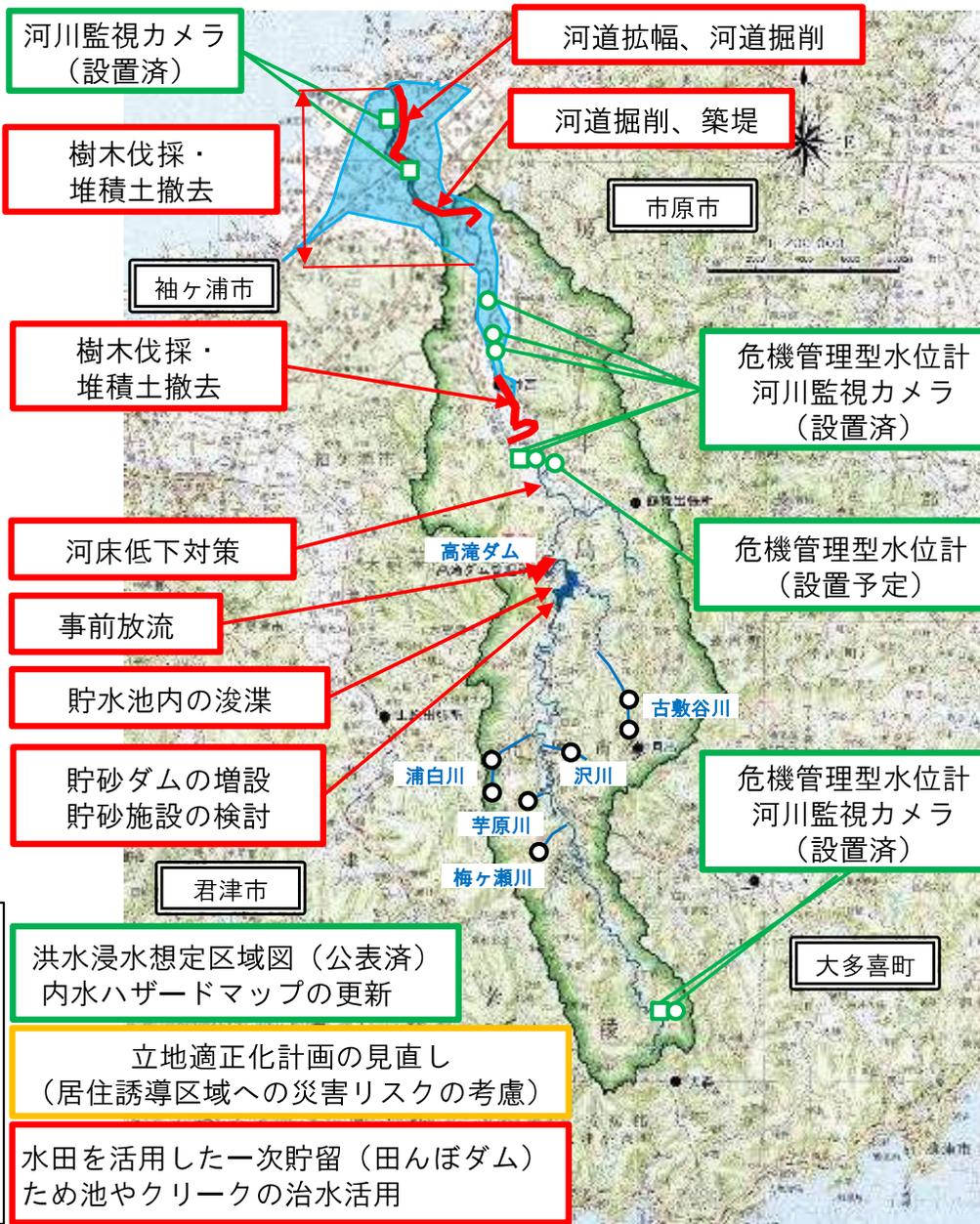
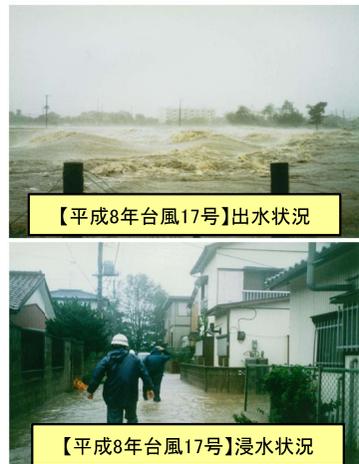
- 矢那川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 河川における対策として、矢那川の下流域で富士見橋の改築を推進するとともに、矢那川の中流域（大正橋～原田橋）と平川の下流域（矢那川合流点～東関東自動車道）で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中期】 富士見橋の改築完了後、矢那川の下流域（矢那川橋～證誠寺橋）で矢那川橋の補強、河床掘削を実施する。
 - 【中長期】 引き続き、矢那川の下流域（證誠寺橋～大正橋）で護岸整備、河床掘削及び橋梁改築を推進し、矢那川の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、矢那川ダムにおける事前放流や水田を活用した一時貯留（田んぼダム）やため池等の治水活用を推進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	護岸整備、河床掘削、橋梁改築	千葉県	富士見橋の改築	矢那川橋～證誠寺橋	證誠寺橋～大正橋
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	矢那川、平川	定期的に見直し実施予定	
	矢那川ダムの事前放流	千葉県	継続して実施		
	公共下水道区域内の雨水流出抑制の指導	木更津市	継続して実施		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と木更津市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と木更津市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
	立地適正化計画の見直し	木更津市	改定・運用	定期的に見直しして運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	洪水ハザードマップの更新・配布	木更津市	随時見直しながら実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	木更津市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	木更津市	継続して実施		
	水防災教育の推進	千葉県・木更津市	継続して実施		
	事業継続計画(BCP)の策定	木更津市	継続して実施		
	不動産取引時の水害リスク情報提供	木更津市	継続して実施		
	地区別防災指針の策定	木更津市	随時見直しながら実施		

【事業費(R4以降の残事業費)】
 ■河川対策
 全体事業費 63.2億円
 河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

○ 令和元年10月豪雨や令和5年9月の台風第13号の接近に伴う豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、養老川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、降雨強度約50mm/hrの確率規模の降雨によって発生しうる洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・ 河道拡幅、河道掘削、築堤
 - ・ 河床低下対策
 - ・ 高滝ダムの事前放流
 - ・ 貯水池内の浚渫
 - ・ 貯砂ダムの増設、貯砂施設の検討
 - ・ 砂防堰堤の整備（整備済）
 - ・ 水田を活用した一次貯留（田んぼダム）
 - ・ ため池やクリークの治水活用
 - ・ 公共下水道（雨水）の整備
 - ・ 開発行為における雨水流出抑制施設等設置の指導

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・ 立地適正化計画の見直し（居住誘導区域への災害リスクの考慮）

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・ 洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・ 危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・ 水害対応タイムラインの活用
 - ・ マイ・タイムラインの作成支援（実施済）
 - ・ 内水ハザードマップの更新
 - ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進
 - ・ 地区防災計画の策定支援



- 【凡例】
- 流域界
 - 河川改修
 - ▲ 高滝ダムの事前放流
 - 砂防堰堤（整備済）
 - 危機管理型水位計
 - 河川監視カメラ
 - 浸水想定（計画規模1/100）

- 洪水浸水想定区域図（公表済）
内水ハザードマップの更新
- 立地適正化計画の見直し
（居住誘導区域への災害リスクの考慮）
- 水田を活用した一次貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

- 養老川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】河川における対策として、養老川下流域（養老橋上下流）で河道拡幅、河道掘削を推進するとともに、中流域の高滝ダムでは、ダム上流からの土砂流出により、貯水池内での堆砂が進みダムの洪水調節容量が確保できなくなることから、貯砂ダムの増設を行う。
 - 【中期】引き続き、養老川河川改修の早期完成に向けて、河道拡幅及び河道掘削を推進する。
 - 【中長期】養老川（養老大橋～JR内房線）で河道拡幅及び河道掘削を推進し、事業区間の改修完了を目指す。さらにJR内房線より上流（廿五里橋～権現堂橋）についても、河道掘削及び築堤を実施するとともに、二線堤の保全を含めた治水対策を推進する。
- あわせて、高滝ダムにおける事前放流や水田を活用した一時貯留（田んぼダム）やため池等の治水活用を推進するとともに、マイ・タイムラインや地区防災計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、河道掘削	千葉県	養老橋付近	養老大橋～JR内房線	
	河道掘削、築堤	千葉県			廿五里橋～権現堂橋
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	養老川全域（定期的に実施予定）		
	河床低下対策	千葉県	パープエ	二瀬橋～ダム下流	
	高滝ダムの事前放流	千葉県	継続して実施		
	貯水池内の浚渫	千葉県	継続して実施		
	貯砂ダムの増設、貯砂施設の検討	千葉県	1基増設	ダム貯水池外で検討	
	水田を活用した一次貯留（田んぼダム）	活動組織等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	公共下水道（雨水）の整備	市原市	継続して実施		
開発行為における雨水流出抑制施設等設置の指導	市原市	継続して実施			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
	立地適正化計画の見直し	市原市	改定・運用	定期的に見直して運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県・市原市	増設予定	運用状況の検証	定期的に更新予定
	内水ハザードマップの更新	市原市	随時見直しながら実施		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進	市原市	継続して実施		
	地区防災計画の策定支援	市原市	継続して実施		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進